

Book 3 Unit 1 Trick Your Eyes with Art pp. 5-15

Unit Goal

Input 絵についてのやり取りや説明を読んで、話の大まかな内容や説明の要点を捉えることができる。

Output 自分の好きな美術作品について、気に入っている点やその理由などを聞き手に分かりやすい表現で発表することができる。
 ・現在完了形(完了・経験)を用いた文を理解したり表現したりすることができる。

評価規準 (P1/2/3=Part 1/2/3, L=Listen, S=Speak, W=Write, EY=Express Yourself, R&T=Read & Think, T&S=Think & Speak)

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
聞くこと	<ul style="list-style-type: none"> 現在完了形(完了・経験)の特徴やきまりを理解している。[P1-3] 現在完了形の特徴やきまりの理解を基に、電話での会話や日常会話を聞いて、その内容を捉える技能を身に付けている。[P1-3 L] 	<ul style="list-style-type: none"> 自分が好きな美術作品を紹介する際の参考とするために、Emiの好きな美術作品についての発表を聞いて、絵の紹介の要点を捉えている。[T&S] 	<ul style="list-style-type: none"> 自分が好きな美術作品を紹介する際の参考とするために、Emi好きな美術作品についての発表を聞いて、絵の紹介の要点を捉えようとしている。[T&S]
読むこと	<ul style="list-style-type: none"> 現在完了形の特徴やきまりを理解している。[P1-3] 現在完了形(完了・経験)の特徴やきまりの理解を基に、3-Dアート展に出かけた際の会話文や、帰宅時のHall先生との会話文を読んで、その内容を捉える技能を身に付けている。[P1-3] 	<ul style="list-style-type: none"> だまし絵の歴史を調べるために、6点のだまし絵を見ながらそれぞれの絵に関する短い説明文を読み、いつの時代に、どの国で、どのような特徴のあるだまし絵が描かれたかなどの、要点を捉えている。[R&T] 	<ul style="list-style-type: none"> だまし絵の歴史を調べるために、6つのだまし絵を見ながらそれぞれの絵に関する短い説明文を読み、いつの時代に、どの国で、どのような特徴のあるだまし絵が描かれたかなどの、要点を捉えようとしている。[R&T]
話すこと「やり取り」	<ul style="list-style-type: none"> 現在完了形(完了・経験)の特徴やきまりを理解している。[P1-3] 現時点で行為が完了しているかどうかについて、現在完了形(完了)の文を用いて伝え合う技能を身に付けている。[P2 S] 現在までに経験したことがあるかどうかについて、現在完了形(経験)の文を用いて伝え合う技能を身に付けている。[P3 S] 	/	/
話すこと「発表」	<ul style="list-style-type: none"> 現在完了形(完了・経験)の特徴やきまりを理解している。[P1-3] 修学旅行の準備で、すでに終えたこととまだ終えていないことについて、現在完了形(完了)の文を用いて話す技能を身に付けている。[P1S] 	<ul style="list-style-type: none"> 自分の好きな美術作品を知ってもらうために、作品のタイトル、作者の名前、創られた時期、作品の説明、好きなどころなどについて、簡単な語句や文を用いて発表している。[T&S] 	<ul style="list-style-type: none"> 自分の好きな美術作品を知ってもらうために、作品のタイトル、作者の名前、創られた時期、作品の説明、好きなどころなどについて、簡単な語句や文を用いて発表しようとしている。[T&S]
書くこと	<ul style="list-style-type: none"> 現在完了形(完了・経験)の特徴やきまりを理解している。[P1-3] Speakで尋ねたり話したりしたことについて、現在完了形を用いて正確に書く技能を身に付けている。[P1-3 W] 	<ul style="list-style-type: none"> 自分の好きな美術作品を知ってもらうために、作品のタイトル、作者の名前、創られた時期、作品の説明、好きなどころなどについて、簡単な語句や文を用いてメモを書いている。[T&S] 	<ul style="list-style-type: none"> 自分の好きな美術作品を知ってもらうために、作品のタイトル、作者の名前、創られた時期、作品の説明、好きなどころなどについて、簡単な語句や文を用いてメモを書こうとしている。[T&S]

Book 3 Unit 2 Passing Down Memories pp. 17-27

Unit Goal

Input ガイドの説明や会話、被爆体験の語り部や語り部伝承者について書かれた文章を読んで、大まかな内容や要点を捉えることができる。

Output 自分たちの修学旅行の行先や日程、見学の計画や事前学習について紹介する文章を、読む人に分かりやすく書くことができる。

- ・現在完了形(継続)、現在完了進行形を用いた文を理解したり表現したりすることができる。

評価規準 (P1/2/3=Part 1/2/3, L=Listen, S=Speak, W=Write, EY=Express Yourself, R&T=Read & Think, T&S=Think & Speak)

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
聞くこと	<ul style="list-style-type: none"> ・現在完了形(継続)や現在完了進行形の特徴やきまりを理解している。[P1-3] ・現在完了形(継続)や現在完了進行形の特徴やきまりの理解を基に、交流会での自己紹介やボランティアガイドと Kiri の会話、Kiri と父親との日常会話を聞いて、その内容を捉える技能を身に付けている。[P1-3 L] 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の学校の修学旅行について紹介する際の参考とするために、Kei の返信ビデオメッセージを聞いて、修学旅行の紹介の要点を捉えている。[T&W] 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の学校の修学旅行について紹介する際の参考とするために、Kei の返信ビデオメッセージを聞いて、修学旅行の紹介の要点を捉えようとしている。[T&W]
読むこと	<ul style="list-style-type: none"> ・現在完了形(継続)や現在完了進行形の特徴やきまりを理解している。[P1-3] ・現在完了形(継続)や現在完了進行形の特徴やきまりの理解を基に、ガイドの説明文やガイドと Kiri の会話文を読んで、その内容を捉える技能を身に付けている。[P1-3] 	<ul style="list-style-type: none"> ・被爆体験の語り部とその伝承者の活動や思いを理解するために、岡田さんと山岡さんの体験や活動について書かれた文章の概要を捉えている。[R&T] 	<ul style="list-style-type: none"> ・被爆体験の語り部とその伝承者の活動や思いを理解するために、岡田さんと山岡さんの体験や活動について書かれた文章の概要を捉えようとしている。[R&T]
話すこと「やり取り」	<ul style="list-style-type: none"> ・現在完了形(継続)や現在完了進行形の特徴やきまりを理解している。[P1-3] ・ある状態や動作がどれくらいの期間続いているかについて、現在完了形(継続)や現在完了進行形を含む文を用いて、伝え合う技能を身に付けている。[P1-3 S] 		
話すこと「発表」	<ul style="list-style-type: none"> ・現在完了形(継続)や現在完了進行形の特徴やきまりを理解している。[P1-3] ・自分がある時期からずっとしたいと思っていることを、現在完了形(継続)を含む文を用いて、話す技能を身に付けている。[P1 S (2)] 		
書くこと	<ul style="list-style-type: none"> ・現在完了形(継続)や現在完了進行形の特徴やきまりを理解している。[P1-3] ・最近ハマっていることについて、現在完了形(継続)を含む文を用いて、書く技能を身に付けている。[P1-EY] ・自分や友達が今までずっと続けてやっていることを、現在完了進行形を含む文を用いて、書く技能を身に付けている。[P3 W] 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の学校の修学旅行を知ってもらうために、修学旅行の行先や日程、事前学習などについて、簡単な語句や文を用いて書いている。[T&W] 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の学校の修学旅行を知ってもらうために、修学旅行の行先や日程、事前学習などについて、簡単な語句や文を用いて書こうとしている。[T&W]

単元目標

- ・最近し終えたことやしたことがあることについて伝え合うことができる。
- ・大切に使っているものについて、どのくらいの間使っているかや、どのようにして手に入れたかなどについて尋ねたり、それについて答えたりすることができる。

評価規準

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
話すこと「やり取り」	<ul style="list-style-type: none"> ・現在完了形や現在完了進行形の肯定文、否定文、疑問文、応答文の特徴やきまりを理解している。 ・最近したことがあること、大切に使っているものなどについて、現在完了形や現在完了進行形の肯定文、否定文、疑問文、応答文を用いて尋ねたり、それに答えたりする技能を身に付けている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ペアの相手について知るために、自分が最近したことがあることについて、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いて、即興で伝えたり、相手からの質問に答えたりしている。 ・ペアの相手について知るために、大切に使っているものについて、手に入れたいきさつや使っている期間などを簡単な語句や文を用いて、即興で尋ねたり答えたりしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ペアの相手について知るために、自分が最近したことがあることについて、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いて、即興で伝えたり、相手からの質問に答えたりしようとしている。 ・ペアの相手について知るために、大切に使っているものについて、手に入れたいきさつや使っている期間などを簡単な語句や文を用いて、即興で尋ねたり答えたりしようとしている。

Book 3 Unit 3 Living Side by Side pp. 31-40

Unit Goal

Input 文章やスピーチから、動物と共存するための方法や工夫などを捉えることができる。

Output 飼っている動物や育てている植物の紹介文を、その特徴や自分との関係を聞き手に分かりやすい表現で発表することができる。

・S+V+O+O(that 節), S+V+O(疑問詞節), S+V+O+O(疑問詞節)の文を理解したり表現したりすることができる。

評価規準 (P1/2/3=Part 1/2/3, L=Listen, S=Speak, W=Write, EY=Express Yourself, L&T=Listen & Think, T&S=Think & Speak)

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
聞くこと	<ul style="list-style-type: none"> ・S+V+O+O(that 節), S+V+O(疑問詞節), S+V+O+O(疑問詞節)の文の特徴やきまりを理解している。[P1-3] ・S+V+O+O(that 節), S+V+O(疑問詞節), S+V+O+O(疑問詞節)の文の特徴やきまりの理解を基に、会話を聞いて、その内容を捉える技能を身に付けている。[P1-3 L] 	<ul style="list-style-type: none"> ・The Clearwater Marine Aquarium の説明をする際の参考のために、Haruka のプレゼンテーションを聞いて、その施設や役割などについての話の要点を捉えている。[L&T] 	<ul style="list-style-type: none"> ・The Clearwater Marine Aquarium の説明をする際の参考のために、Haruka のプレゼンテーションを聞いて、その施設や役割などについての話の要点を捉えようとしている。[L&T]
読むこと	<ul style="list-style-type: none"> ・S+V+O+O(that 節), S+V+O(疑問詞節), S+V+O+O(疑問詞節)の文の特徴やきまりを理解している。[P1-3] ・S+V+O+O(that 節), S+V+O(疑問詞節), S+V+O+O(疑問詞節)の文の特徴やきまりの理解を基に、動物との共存方法や工夫に関する説明文を音読する技能を身に付けている。[P1-3] 		
話すこと「やり取り」	<ul style="list-style-type: none"> ・S+V+O+O(that 節), S+V+O(疑問詞節), S+V+O+O(疑問詞節)の文の特徴やきまりを理解している。[P1-3] ・標識が表す内容について、S+V+O+O(that 節)の文を用いて、伝え合う技能を身に付けている。[P1 S] 		
話すこと「発表」	<ul style="list-style-type: none"> ・S+V+O+O(that 節), S+V+O(疑問詞節), S+V+O+O(疑問詞節)の文の特徴やきまりを理解している。[P1-3] ・ある人について知っていることと知らないことを、S+V+O(疑問詞節)の文を用いて、話す技能を身に付けている。[P2 S] 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分や家族が育てた動物や植物について知ってもらうために、いつから飼い／育て始めたか、きっかけは何か、その特徴や自分との関係などについて、簡単な語句や文を用いて発表している。[T&S] 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分や家族が育てた動物や植物について知ってもらうために、いつから飼い／育て始めたか、きっかけは何か、その特徴や自分との関係などについて、簡単な語句や文を用いて発表しようとしている。[T&S]
書くこと	<ul style="list-style-type: none"> ・S+V+O+O(that 節), S+V+O(疑問詞節), S+V+O+O(疑問詞節)の文の特徴やきまりを理解している。[P1-3] ・身の回りの人から言われたことで印象に残っていることを、S+V+O+O(that 節)を用いて、書く技能を身に付けている。[P1 EY] 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分や家族が育てた動物や植物について知ってもらうために、いつから飼い／育て始めたか、きっかけは何か、その特徴や自分との関係などについて、簡単な語句や文を用いてメモを書いている。[T&S] 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分や家族が育てた動物や植物について知ってもらうために、いつから飼い／育て始めたか、きっかけは何か、その特徴や自分との関係などについて、簡単な語句や文を用いてメモを書こうとしている。[T&S]

Book 3 Let's Talk ① 買い物のトラブル p. 41

単元目標

苦情を伝えたり、苦情に対して謝ったりすることができる。

評価規準

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
読むこと	<ul style="list-style-type: none"> 「買い物のトラブル」で用いられている表現の意味や働きを理解している。 「買い物のトラブル」で用いられている表現の意味や働きの理解を基に、買い物のトラブルの場面の会話文を読み取る技能を身に付けている。 		
話すこと「やり取り」	<ul style="list-style-type: none"> 「買い物のトラブル」で用いられている表現の意味や働きを理解している。 買い物のトラブルの場面で、「買い物のトラブル」で用いられている表現を活用して、会話をする技能を身に付けている。 	<ul style="list-style-type: none"> 買い物のトラブルの場面を想定して、購入品やそのトラブルを Tool Box を参考にして決め、簡単な語句や文を用いて、ペアでスキットを演じている。 	<ul style="list-style-type: none"> 買い物のトラブルの場面を想定して、購入品やそのトラブルを Tool Box を参考にして決め、簡単な語句や文を用いて、ペアでスキットを演じようとしている。

Book 3 Let's Listen ① Rank items in Order of Importance p. 42

単元目標

ラジオ番組を聞いて必要な情報を聞き取り、それを友達に伝えることができる。

評価規準

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
聞くこと	<ul style="list-style-type: none"> 聞いているラジオ番組で用いられている語句の意味や働きを理解している。 聞いているラジオ番組で用いられている語句の意味や働きの理解を基に、サバイバルシーンで重要なものについて話しているラジオ番組を聞いて、その内容を捉える技能を身に付けている。 	<ul style="list-style-type: none"> サバイバルシーンで重要なものについてのラジオ番組を聞いて、Emma の考えやエキスパートの答え、各アイテムがその順位になった理由などの必要な情報を捉えている。 	<ul style="list-style-type: none"> サバイバルシーンで重要なものについてのラジオ番組を聞いて、Emma の考えやエキスパートの答え、各アイテムがその順位になった理由などの必要な情報を捉えようとしている。
話すこと「発表」	<ul style="list-style-type: none"> 聞いているラジオ番組で用いられている語句の意味や働きを理解している。 このラジオ番組を聞いていなかった友達に、サバイバルシーンで生き残るために重要な 5 つのアイテムのランキングやその理由を、簡単な語句や文を用いて話す技能を身に付けている。 	<ul style="list-style-type: none"> ラジオ番組を聞いていなかった友達に、サバイバルシーンで生き残るために重要な 5 つのアイテムのランキングやその理由について、簡単な語句や文を用いて話している。 	<ul style="list-style-type: none"> ラジオ番組を聞いていなかった友達に、サバイバルシーンで生き残るために重要な 5 つのアイテムのランキングやその理由について、簡単な語句や文を用いて伝えようとしている。

Book 3 Focus on Form ② 英語の文構造 p. 43

単元目標

最近うれしかったことについて、いつ、どこで、どんなことだったか、それをどう感じたかなどを書くことができる。

評価規準

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
書くこと	<ul style="list-style-type: none"> ・S+V, S+V+C, S+V+O, S+V+O+O, S+V+O+C の5つの文構造の特徴やまわりを理解している。 ・最近うれしかったことについて、S+V, S+V+C, S+V+O, S+V+O+O, S+V+O+C の5つの文構造を用いて、正確に文を書く技能を身に付けている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・読む人にわかりやすいように、最近うれしかったことについて、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いて、まとまりのある文章を書いている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・読む人にわかりやすいように、最近うれしかったことについて、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いて、まとまりのある文章を書こうとしている。

Book 3 Project ① Interview with Our ALT pp. 44-45

単元目標

ALT の先生にインタビューをして、聞き取った内容を文章にまとめることができる。

評価規準

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
聞くこと	<ul style="list-style-type: none"> ・インタビューで用いられている表現の意味や働きを理解している。 ・インタビューで用いられている表現の意味や働きの理解を基に、ALT の先生へのインタビューを聞いて、その内容を捉える技能を身に付けている。 		
読むこと	<ul style="list-style-type: none"> ・インタビューで用いられている表現の意味や働きを理解している。 ・インタビューで用いられている表現の意味や働きの理解を基に、Maki のグループが聞き取った内容をまとめた記事を読んで、その内容を捉える技能を身に付けている。 		
話すこと「やり取り」	<ul style="list-style-type: none"> ・インタビューで用いられている表現の意味や働きを理解している。 ・インタビューで用いられている表現や Tool Box の表現を用いて、ALT の先生にインタビューする技能を身に付けている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・インタビューした内容を記事にまとめるために、ALT の先生の基本情報や過去のこと、現在のこと、将来のことなどについて、簡単な語句や表現を用いて尋ね、回答してもらっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・インタビューした内容を記事にまとめるために、ALT の先生の基本情報や過去のこと、現在のこと、将来のことなどについて、簡単な語句や文を用いて尋ね、回答してもらおうとしている。
書くこと	<ul style="list-style-type: none"> ・インタビューで用いられている表現の意味や働きを理解している。 ・インタビューで用いられている表現を活用して、ALT の先生に質問する内容について考え、簡単な語句や文を用いてメモを書く技能を身に付けている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ALT の先生に関する記事を読んでもらうために、インタビューで聞き取った ALT の先生の回答を整理して、Step 1 の②で読んだ記事の文章構成を参考に、事実や自分たちの考え、気持ちなどを、簡単な語句や文を用いて紹介記事を書いている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ALT の先生に関する記事を読んでもらうために、インタビューで聞き取った ALT の先生の回答を整理して、Step 1 の②で読んだ記事の文章構成を参考に、事実や自分たちの考え、気持ちなどを、簡単な語句や文を用いて紹介記事を書こうとしている。

Book 3 Let's Read ① The Wizard of Oz pp. 46-50

単元目標

あらすじを捉え、作者が伝えたかったことを考えることができる。

評価規準

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
読むこと	<ul style="list-style-type: none"> ・ <i>The Wizard of Oz</i> を読むために必要な語句の意味や働きを理解している。 ・ <i>The Wizard of Oz</i> を読むために必要な語句の意味や働きを理解を基に、Before Reading の情報を利用しながら、<i>The Wizard of Oz</i> を読んで、概要を捉える技能を身に付けている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 物語の作者が伝えたかったことは何かについて理解するために、<i>The Wizard of Oz</i> を読んで、そのの概要を捉えている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 物語の作者が伝えたかったことは何かについて理解するために、<i>The Wizard of Oz</i> を読んで、その概要を捉えようとしている。
話すこと「やり取り」	<ul style="list-style-type: none"> ・ <i>The Wizard of Oz</i> を読むために必要な語句の意味や働きを理解している。 ・ <i>The Wizard of Oz</i> を読んだ感想を、簡単な語句や文を用いて、伝え合う技能を身に付けている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 物語の作者が伝えたかったことや、登場人物について考えたことに関して、簡単な語句や文を用いて、伝え合っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 物語の作者が伝えたかったことや、登場人物について考えたことに関して、簡単な語句や文を用いて、伝え合おうとしている。

Book 3 Unit 4 Society for All pp. 51-61

Unit Goal

Input ユニバーサルデザインの具体例を紹介している文章を読んで、その特徴や使いやすくなるための工夫などを読み取ることができる。

Output ユニバーサルデザインの具体例について、その特徴や使いやすさを説明する文章を書くことができる。

- ・現在分詞の後置修飾、過去分詞の後置修飾、接触節を用いた文を理解したり表現したりすることができる。

評価規準 (P1/2/3=Part 1/2/3, L=Listen, S=Speak, W=Write, EY=Express Yourself, R&T=Read & Think, T&S=Think & Speak)

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
聞くこと	<ul style="list-style-type: none"> ・現在分詞や過去分詞、接触節を用いた文の特徴やきまりを理解している。[P1-3] ・現在分詞や過去分詞、接触節を用いた文の特徴やきまりの理解を基に、ピクトグラムの説明やロボットの紹介、訪問した場所について説明する日常会話を聞いて、その内容を捉える技能を身に付けている。[P1-3 L] 	<ul style="list-style-type: none"> ・ユニバーサルデザインの具体例を説明する参考にするために、低床バスについての特徴やだれにとって使いやすいかなどの Jin の説明を聞いて、その要点を捉えている。[T&W] 	<ul style="list-style-type: none"> ・ユニバーサルデザインの具体例を説明する参考にするために、低床バスについての特徴やだれにとって使いやすいかなどの Jin の説明を聞いて、その要点を捉えようとしている。[T&W]
読むこと	<ul style="list-style-type: none"> ・現在分詞や過去分詞、接触節を用いた文の特徴やきまりを理解している。[P1-3] ・現在分詞や過去分詞、接触節を用いた文の特徴やきまりの理解を基に、ピクトグラムやサイボーグ技術、インクルーシブな公園に関する会話文や説明文を読んで、その内容を捉える技能を身に付けている。[P1-3] 	<ul style="list-style-type: none"> ・ユニバーサルデザインについて知るために、点字ブロックの発明者や発明のきっかけ、広く使われるようになっていく過程やその進化について書かれている記事を読んで、その概要を捉えている。[R&T] 	<ul style="list-style-type: none"> ・ユニバーサルデザインについて知るために、点字ブロックの発明者や発明のきっかけ、広く使われるようになっていく過程やその進化について書かれている記事を読んで、その概要を捉えようとしている。[R&T]
話すこと「やり取り」	<ul style="list-style-type: none"> ・現在分詞や過去分詞、接触節を用いた文の特徴やきまりを理解している。[P1-3] ・自分が好きな歌や聞いたことがある音楽について、事実や自分の気持ちなどを、過去分詞の後置修飾を含んだ文を用いて、尋ね合う技能を身に付けている。[P1-3 S] 	/	/
話すこと「発表」	<ul style="list-style-type: none"> ・現在分詞や過去分詞、接触節を用いた文の特徴やきまりを理解している。[P1-3] ・クラスメートの紹介をするために、現在分詞の後置修飾を含んだ文を用いて話す技能を身に付けている。[P1 EY] 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分が調べたユニバーサルデザインの具体例について知ってもらうために、具体例として選んだものについて、どのような特徴があるか、だれにとって使いやすいかなど事実や自分の考えを整理して、写真を見せながら簡単な語句や文を用いて話している。[T&W] 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分が調べたユニバーサルデザインの具体例について知ってもらうために、具体例として選んだものについて、どのような特徴があるか、だれにとって使いやすいかなど事実や自分の考えを整理して、写真を見せながら簡単な語句や文を用いて話そうとしている。[T&W]
書くこと	<ul style="list-style-type: none"> ・現在分詞や過去分詞、接触節を用いた文の特徴やきまりを理解している。[P1-3] ・Speak で伝え合ったことについて、現在分詞や過去分詞の後置修飾、接触節を含んだ文を用いて正確に書く技能を身に付けている。[P1-3 W] 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分が調べたユニバーサルデザインについて知ってもらうために、具体例として選んだものについて、どのような特徴があるか、だれにとって使いやすいかなど事実や自分の考えを整理して、簡単な語句や文を用いて書いている。[T&W] 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分が調べたユニバーサルデザインについて知ってもらうために、具体例として選んだものについて、どのような特徴があるか、だれにとって使いやすいかなど事実や自分の考えを整理して簡単な語句や文を用いて書こうとしている。[T&W]

単元目標

自分が打ち込んできた活動についてまとまりのある文章を書くことができる。

評価規準

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
読むこと	<ul style="list-style-type: none"> ・「中学校生活で打ち込んできたこと」で用いられている表現の意味や働きを理解している。 ・「中学校生活で打ち込んできたこと」で用いられている表現の意味や働きの理解を基に、Akari が書いた文章を読んで、どのようなことに打ち込んできたかを読み取る技能を身に付けている。 		
書くこと	<ul style="list-style-type: none"> ・「中学校生活で打ち込んできたこと」で用いられている表現の意味や働きを理解している。 ・「中学校生活で打ち込んできたこと」で用いられている表現を活用して、自分が打ち込んできたことを、簡単な語句や文を用いて用いて正確に書く技能を身に付けている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・オーストラリアの姉妹校の生徒に自分の中学校生活を知ってもらうために、「中学生生活で打ち込んできたこと」について、事実や自分の考え、気持ちを整理し、まとまりのある文章を簡単な語句や文を用いて書いている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・オーストラリアの姉妹校の生徒に自分の中学校生活を知ってもらうために、「中学生生活で打ち込んできたこと」について、事実や自分の考え、気持ちを整理し、まとまりのある文章を簡単な語句や文を用いて書こうとしている。

Book 3 Unit 5 Take Action on Climate Change pp. 63-72

Unit Goal

Input 気候変動の原因やいくつかの対応策について聞き取ることができる。

Output 自分が取り組める気候変動への対応策について、取り組むことやその手段を聞き手に分かりやすい表現で発表することができる。

・関係代名詞の主格の who/that/which, 目的格の that/which を用いた文を理解したり表現したりすることができる。

評価規準 (P1/2/3=Part 1/2/3, L=Listen, S=Speak, W=Write, EY=Express Yourself, L&T=Listen & Think, T&S=Think & Speak)

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
聞くこと	<ul style="list-style-type: none"> 主格や目的格の関係代名詞の特徴やきまりを理解している。[P1-3] 主格や目的格の関係代名詞の特徴やきまりの理解を基に、人物やマンホール、時計と料理の写真についての説明や会話を聞いて、その内容を捉える技能を身に付けている。[P1-3 L] 	<ul style="list-style-type: none"> Hina のプレゼンテーションについて友達に話すために、気候変動問題の解決策の 1 つとしての水素や水素の運搬方法としてアンモニアに変換すること、アンモニアも将来はエネルギー資源として期待されていることなどについての Hina のプレゼンテーションをスライドを見ながら聞いて、その要点を捉えている。[L&T] 	<ul style="list-style-type: none"> Hina のプレゼンテーションについて友達に話すために、気候変動問題の解決策の 1 つとしての水素や水素の運搬方法としてアンモニアに変換すること、アンモニアも将来はエネルギー資源として期待されていることなどについての Hina のプレゼンテーションをスライドを見ながら聞いて、その要点を捉えようとしている。[L&T]
読むこと	<ul style="list-style-type: none"> 主格や目的格の関係代名詞の特徴やきまりを理解している。[P1-3] 主格や目的格の関係代名詞の特徴やきまりの理解を基に、気候変動、植林による二酸化炭素排出量削減策、化石燃料からの二酸化炭素の削減目標についての会話文や説明文を読んで、その内容を捉える技能を身に付けている。[P1-3] 	/	/
話すこと「やり取り」	<ul style="list-style-type: none"> 主格の関係代名詞 that/which の特徴やきまりを理解している。[P2] 聞いて幸せになる歌や見てわくわくする映画、リラックスする場所や飲み物などについて、主格の関係代名詞 that/which を含んだ文を用いて、尋ね合う技能を身に付けている。[P2 S] 	/	/
話すこと「発表」	<ul style="list-style-type: none"> 目的格の関係代名詞 that/which の特徴やきまりを理解している。[P3] 身の回りの物について説明するために、目的格の関係代名詞 that/which を含んだ文を用いて、事実や自分の考えを整理し、話す技能を身に付けている。[P3 EY] 	<ul style="list-style-type: none"> 「私の環境に優しい行動」を知ってもらうために、自分が取り組むことやその手段、「いつ」「どこで」「だれと」行いかなどについて、簡単な語句や文を用いて聞き手にわかりやすい表現で発表している。[T&S] 	<ul style="list-style-type: none"> 「私の環境に優しい行動」を知ってもらうために、自分が取り組むことやその手段、「いつ」「どこで」「だれと」行いかなどについて、簡単な語句や文を用いて聞き手にわかりやすい表現で発表しようとしている。[T&S]
書くこと	<ul style="list-style-type: none"> 主格や目的格の関係代名詞の特徴やきまりを理解している。[P1-3] Speak で尋ねたり話したりしたことについて、関係代名詞を含んだ文を用いて正確に書く技能を身に付けている。[P1-3 W] 	<ul style="list-style-type: none"> 自分が好きな人物や尊敬する人物を知ってもらうために、好きな人物や尊敬する人物について、事実や自分の考えや気持ちを整理して、簡単な語句や文を用いて書いている。[P1 EY] 	<ul style="list-style-type: none"> 自分が好きな人物や尊敬する人物を知ってもらうために、好きな人物や尊敬する人物について、事実や自分の考えや気持ちを整理して、簡単な語句や文を用いて書こうとしている。[P1 EY]

Book 3 Focus on Form ③ 後置修飾／〈疑問詞＋主語＋動詞〉を含む文 pp. 74-75

単元目標

- ・インターネットなどでよく見る動画について、どのような動画なのか、どのようなところが好きなのかを書くことができる。
- ・時間があるときによく行く場所について尋ね合い、その場所のことやそこですることなどを伝え合うことができる。

評価規準

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
話すこと「やり取り」	<ul style="list-style-type: none"> ・関係代名詞や S+V+O(疑問詞節), S+V+O+O(疑問詞節)を含む文の特徴やきまりを理解している。 ・時間があるときによく行く場所について、関係代名詞や, S+V+O(疑問詞節), S+V+O+O(疑問詞節)を含む文を用いて尋ねたり, それに答えたりする技能を身に付けている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ペアの相手について知るために, 相手が時間のあるときによく行く場所や, その場所のことや, そこですることなどについて, 簡単な語句や文を用いて即興で尋ねたり答えたりしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ペアの相手について知るために, 相手が時間のあるときによく行く場所や, その場所のこと, そこですることなどについて, 簡単な語句や文を用いて即興で尋ねたり答えたりしようとしている。
書くこと	<ul style="list-style-type: none"> ・現在分詞と過去分詞の後置修飾, 接触節を含む文の特徴やきまりを理解している。 ・インターネットでよく見る動画について, 現在分詞と過去分詞の後置修飾, 接触節を含む文を用いて, 正確に文を書く技能を身に付けている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・読む人にわかりやすいように, インターネットでよく見る動画について, どのような動画なのか, どのようなところが好きなのかを, 簡単な語句や文を用いて, まとまりのある文章を書いている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・読む人にわかりやすいように, インターネットでよく見る動画について, どのような動画なのか, どのようなところが好きなのかを, 簡単な語句や文を用いて, まとまりのある文章を書こうとしている。

Book 3 Unit 6 Working in the World pp.77-87

Unit Goal

Input 世界で活躍する人物の生き方や成し遂げたことについて時系列に整理し、大まかな内容を把握することができる。

Output 世界で活躍する人物の生き方や成し遂げてきたことについて紹介する文章とそれに加えて感想や考えを書くことができる。

・S+V+O+C(原形不定詞), 仮定法過去を用いた文を理解したり表現したりすることができる。

評価規準 (P1/2/3=Part 1/2/3, L=Listen, S=Speak, W=Write, EY=Express Yourself, R&T=Read & Think, T&S=Think & Speak)

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
聞くこと	<ul style="list-style-type: none"> ・S+V+O+C(原形不定詞), 仮定法過去の特徴やきまりを理解している。[P1-3] ・S+V+O+C(原形不定詞), 仮定法過去の特徴やきまりの理解を基に, 短い話や会話を聞いて, その内容を捉える技能を身に付けている。[P1-3 L] 		
読むこと	<ul style="list-style-type: none"> ・S+V+O+C(原形不定詞), 仮定法過去の特徴やきまりを理解している。[P1-3] ・S+V+O+C(原形不定詞), 仮定法過去の特徴やきまりの理解を基に, 栗山さんを紹介する文章を音読する技能を身に付けている。[P1-3] 	<ul style="list-style-type: none"> ・メジャーリーガーとして活躍する大谷翔平選手の生き方を知るために, 彼について書かれた文章を読んで, その内容を時系列に整理し, 概要を捉えている。[R&T] ・「世界で活躍する人物」について紹介する際の参考にするために, Hina が書いた紹介文を読んで, どんな人をどのように紹介しているかなどの概要を捉えている。[T&W] 	<ul style="list-style-type: none"> ・メジャーリーガーとして活躍する大谷翔平選手の生き方を知るために, 彼について書かれた文章を読んで, その内容を時系列に整理し, 概要を捉えようとしている。[R&T] ・「世界で活躍する人物」について紹介する際の参考にするために, Hina が書いた紹介文を読んで, どんな人をどのように紹介しているかなどの概要を捉えようとしている。[T&W]
話すこと「やり取り」	<ul style="list-style-type: none"> ・S+V+O+C(原形不定詞)の特徴やきまりを理解している。[P1] ・教科書の Unit についての感想を相手に伝えるために, S+V+O+C(原形不定詞)の文を用いて, 伝え合う技能を身に付けている。[P1 S] 	<ul style="list-style-type: none"> ・友人からの楽しいことに誘われたときに断るために, 一緒に行けないということと行けない理由を伝えるとともに, 相手の気持ちを害さないように, 簡単な語句や文を用いて伝えている。[P2 EY] 	<ul style="list-style-type: none"> ・友人からの楽しいことに誘われたときに断るために, 一緒に行けないということと行けない理由を伝えるとともに, 相手の気持ちを害さないように, 簡単な語句や文を用いて伝えようとしている。[P2 EY]
話すこと「発表」	<ul style="list-style-type: none"> ・S+V+O+C(原形不定詞), 仮定法過去の特徴やきまりを理解している。[P1-3] ・大谷選手について, Key Phrases を参考にして, 簡単な語句や文を用いて紹介する技能を身に付けている。[R&T] 	<ul style="list-style-type: none"> ・大谷選手の今までに積み重ねてきた努力を知ってもらうために, Key Phrases を参考にしながら, 事実と書き手の考えを整理して, 簡単な語句や文を用いて, 大谷選手のことを紹介している。[R&T] 	<ul style="list-style-type: none"> ・大谷選手の今までに積み重ねてきた努力を知ってもらうために, Key Phrases を参考にしながら, 事実と書き手の考えを整理して, 簡単な語句や文を用いて, 大谷選手のことを紹介しようとしている。[R&T]
書くこと	<ul style="list-style-type: none"> ・S+V+O+C(原形不定詞), 仮定法過去の特徴やきまりを理解している。[P1-3] ・Speak で話したことについて, S+V+O+C(原形不定詞), 仮定法過去の文を用いて正確に書く技能を身に付けている。[P1-3 W] 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分が考える「世界で活躍する人物」について知ってもらうために, その人物の職業と生き方, 何をしているかなどの事実と, 自分の感想や意見を整理し, 紹介文を書いている。[T&W] 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分が考える「世界で活躍する人物」について知ってもらうために, その人物の職業と生き方, 何をしているかなどの事実と, 自分の感想や意見を整理し, 紹介文を書こうとしている。[T&W]

Book 3 Let's Talk ② 乗り物を使った道案内 p. 88

単元目標

目的地までの、乗り物を使った行き方をたずねたり、説明したりすることができる。

評価規準

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
読むこと	<ul style="list-style-type: none"> 「乗り物を使った道案内」で用いられている表現の意味や働きを理解している。 「乗り物を使った道案内」で用いられている表現の意味や働きの理解を基に、観光案内所での会話文を読み取る技能を身に付けている。 	/	/
話すこと「やり取り」	<ul style="list-style-type: none"> 「乗り物を使った道案内」で用いられている表現の意味や働きを理解している。 「乗り物を使った道案内」で用いられている表現を活用して、乗り物を使った目的地までの行き方を、尋ねたり説明したりする技能を身に付けている。 	<ul style="list-style-type: none"> 目的地までの乗り物を使った行き方を尋ねたり説明したりする場面を想定して、路線図を使って今いる場所や目的地を自由に設定し、ペアでスキットを演じている。 	<ul style="list-style-type: none"> 目的地までの乗り物を使った行き方を尋ねたり説明したりする場面を想定して、路線図を使って今いる場所や目的地を自由に設定し、ペアでスキットを演じようとしている。

Book 3 Let's Listen ② Pay It Forward p. 89

単元目標

ラジオ番組を聞いて話のおおまかな内容を聞き取り、それを友達に伝えることができる。

評価規準

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
聞くこと	<ul style="list-style-type: none"> 聞いているラジオ番組で用いられている語句の意味や働きを理解している。 聞いているラジオ番組で用いられている語句の意味や働きの理解を基に、町のレストランで起きた出来事についてのラジオ番組を聞いて、その概要を捉える技能を身に付けている。 	<ul style="list-style-type: none"> 町のレストランで、ある男性客が近くのテーブルで食事をしていた6人の高校生に対して行ったことが、その後どのような展開をしていったのかについて話しているラジオ番組を聞いて、その概要を捉えている。 	<ul style="list-style-type: none"> 町のレストランで、ある男性客が近くのテーブルで食事をしていた6人の高校生に対して行ったことが、その後どのような展開をしていったのかについて話しているラジオ番組を聞いて、その概要を捉えようとしている。
話すこと「発表」	<ul style="list-style-type: none"> 聞いているラジオ番組で用いられている語句の意味や働きを理解している。 ラジオ番組を聞いて、それを聞いていなかった友達に簡単な語句や文を用いて話す技能を身に付けている。 	<ul style="list-style-type: none"> ラジオ番組の内容を友達に伝えるために、ラジオ番組で聞いた話について、だれが、何をして、何を感じたかを時系列に整理し、簡単な語句や文を用いて話している。 	<ul style="list-style-type: none"> ラジオ番組の内容を友達に伝えるために、ラジオ番組で聞いた話について、だれが、何をして、何を感じたかなどを時系列に整理し、簡単な語句や文を用いて話そうとしている。

単元目標

自分の過去や現在のこと、15年程度未来のことを想像して、書くことができる。

評価規準

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
読むこと	<ul style="list-style-type: none"> ・Naomi が書いた「私の過去・現在・未来」で用いられている表現の意味や働きを理解している。 ・Naomi が書いた「私の過去・現在・未来」で用いられている表現の意味や働きの理解を基に、Naomi の文章を読んで、その内容を捉える技能を身に付けている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分のリーフレットを作る際の参考にするために、Naomi が書いた「私の過去・現在・未来」を読んで、その概要を捉えている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分のリーフレットを作る際の参考にするために、Naomi が書いた「私の過去・現在・未来」を読んで、その概要を捉えようとしている。
書くこと	<ul style="list-style-type: none"> ・Naomi が書いた「私の過去・現在・未来」で用いられている表現の意味や働きを理解している。 ・自分の「私の過去・現在・未来」について、Naomi が書いた「私の過去・現在・未来」で用いられている表現を活用して、正確に書く技能を身に付けている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の「私の過去・現在・未来」を書いたリーフレットを読んでもらうために、Step 2 で書いたメモをに対するクラスメートからの改善点を取り入れ、自分のこれまでの歩み（事実）と未来のこと（夢など）を、簡単な語句や文を用いて書いている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の「私の過去・現在・未来」を書いたリーフレットを読んでもらうために、Step 2 で書いたメモをに対するクラスメートからの改善点を取り入れ、自分のこれまでの歩み（事実）と未来のこと（夢など）を、簡単な語句や文を用いて書こうとしている。

単元目標

言語について書かれた文章を読んで、その要点を捉えることができる。

評価規準

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
読むこと	<ul style="list-style-type: none"> ・ <i>English Is a Tool for International Communication</i> を読むために必要な語句の意味や働きを理解している。 ・ <i>English Is a Tool for International Communication</i> を読むために必要な語句の意味や働きの理解を基に、文章の要点を捉える技能を身に付けている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ なぜ英語を学んでいるかを考えるために、 <i>English Is a Tool for International Communication</i> を読んで、各段落でどのようなことが書かれているか要点を捉えている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ なぜ英語を学んでいるかを考えるために、 <i>English Is a Tool for International Communication</i> を読んで、各段落でどのようなことが書かれているか要点を捉えようとしている。
話すこと「発表」	<ul style="list-style-type: none"> ・ <i>English Is a Tool for International Communication</i> を読むために必要な語句の意味や働きを理解している。 ・ <i>English Is a Tool for International Communication</i> の内容について、簡単な語句や文を用いて話す技能を身に付けている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 聞き手に理解してもらえるよう、 <i>English Is a Tool for International Communication</i> の内容について、Step 1 や Step 2 を参考にしながら、簡単な語句や文を用いて話している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 聞き手に理解してもらえるよう、 <i>English Is a Tool for International Communication</i> の内容について、Step 1 や Step 2 を参考にしながら、簡単な語句や文を用いて話そうとしている。

単元目標

- ・自分がスーパーヒーローだったら何をするかを、順序だててわかりやすく話すことができる。

評価規準

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
話すこと「発表」	<ul style="list-style-type: none"> ・使役動詞や仮定法過去を含む文の特徴やきまりを理解している。 ・「もしも自分がスーパーヒーローだったら何をするか」について、使役動詞や仮定法過去を含む文を用いて、発表する技能を身に付けている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・聞き手にわかりやすいように、「もしも自分がスーパーヒーローだったら何をするか」について、簡単な語句や文を用いて、伝えたい内容を整理し、順序だてて発表することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・聞き手にわかりやすいよう、「もしも自分がスーパーヒーローだったら何をするか」について、簡単な語句や文を用いて、伝えたい内容を整理し、順序だてて発表しようとしている。

単元目標

- 誘われた時に、相手の気持ちに配慮して断ることができる。

評価規準

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
読むこと	<ul style="list-style-type: none"> ・誘いを断る会話で用いられている表現の意味や働きを理解している。 ・誘いを断る会話で用いられている表現の意味や働きの理解を基に、友達からの誘いを断る場面の会話文を読み取る技能を身に付けている。 		
話すこと「やり取り」	<ul style="list-style-type: none"> ・誘われた時に、相手の気持ちに配慮しながら断る際の表現の意味や働きを理解している。 ・誘いを断る会話で用いられている表現を活用して、誘いを断る場面に応じて誘いを断る技能を身に付けている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・他者から何かに誘われた場面を想定して、誘う内容や断る理由、相手の気持ちに配慮して断る表現などを Tool Box を参考に考え、簡単な語句や文を用いて、ペアでスキットを演じている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・他者から何かに誘われた場面を想定して、誘う内容や断る理由、相手の気持ちに配慮して断る表現などを Tool Box を参考に考え、簡単な語句や文を用いて、ペアでスキットを演じようとしている。

Book 3 Let's Listen ③ Fighting Global Warming p.99

単元目標

スピーチを聞いて、話の要点を捉えることができる。

評価規準

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
聞くこと	<ul style="list-style-type: none"> Davidさんのスピーチで用いられている語句の意味や働きを理解している。 Davidさんのスピーチで用いられている語句の意味や働きの理解を基に、Davidさんのスピーチを聞いて、その要点を捉える技能を身に付けている。 	<ul style="list-style-type: none"> 地球温暖化問題について考えるために、環境に関わる活動に取り組む人のスピーチを聞いて、メモなどを取りながら、必要な情報（話し手が抱える問題）を聞き取っている。 	<ul style="list-style-type: none"> 地球温暖化問題について考えるために、環境に関わる活動に取り組む人のスピーチを聞いて、メモなどを取りながら、必要な情報（話し手が抱える問題）を聞き取ろうとしている。
話すこと「やり取り」	<ul style="list-style-type: none"> Davidさんのスピーチで用いられている語句の意味や働きを理解している。 Davidさんの地球温暖化についてのスピーチで伝えたかったことは何かについて、簡単な語句や文を用いてペアやグループで伝え合う技能を身に付けている。 	<ul style="list-style-type: none"> 地球温暖化問題について考えるために、Davidさんが話すチャドの状況や、Davidさんが子供に環境教育を行うNGOで取り組んでいる活動状況などの話から、Davidさんが伝えたかったことは何かについて、簡単な語句や文を用いて、ペアやグループで伝え合っている。 	<ul style="list-style-type: none"> 地球温暖化問題について考えるために、Davidさんが話すChadの状況や、Davidさんが子供に環境教育を行うNGOで取り組んでいる活動状況などの話から、Davidさんが伝えたかったことは何かについて、簡単な語句や文を用いて、ペアやグループで伝え合おうとしている。
書くこと	<ul style="list-style-type: none"> Davidさんのスピーチで用いられている語句の意味や働きを理解している。 Davidさんのチャドについてのスピーチで話している、チャドが抱える問題について、簡単な語句や文を用いて書く技能を身に付けている。 	<ul style="list-style-type: none"> チャドの現状をより深く知るために、Davidさんがチャドについてのスピーチで話していることや、チャドが抱える問題について、簡単な語句や文を用いて書いている。 	<ul style="list-style-type: none"> チャドの現状をより深く知るために、Davidさんがチャドについてのスピーチで話していることや、チャドが抱える問題点について、簡単な語句や文を用いて書こうとしている。

Book 3 Let's Write ② 投稿文への意見を書こう p. 100

単元目標

社会的な話題に関して、自分の意見を理由や根拠を交えて書くことができる。

評価規準

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
読むこと	<ul style="list-style-type: none"> SNSに投稿された地域奉仕活動に関する投稿文で用いられている表現の意味や働きを理解している。 SNSに投稿された地域奉仕活動に関する投稿文で用いられている表現の意味や働きの理解を基に、投稿文の内容を読み取る技能を身に付けている。 		
書くこと	<ul style="list-style-type: none"> SNSに投稿された地域奉仕活動に関する投稿文で用いられている表現の意味や働きを理解している。 地域奉仕活動に関する投稿文で用いられている表現や文章構成を参考にして、投稿文に対する自分の意見を、正確に書く技能を身に付けている。 	<ul style="list-style-type: none"> 地域奉仕活動に関する投稿文に対する自分の意見を投稿するために、投稿文の文章構成を参考にしながら、自分の意見を理由や根拠を交え、簡単な語句や文を用いて、まとまりのある文章を書いている。 	<ul style="list-style-type: none"> 地域奉仕活動に関する投稿文に対する自分の意見を投稿するために、投稿文の文章構成を参考にしながら、自分の意見を理由や根拠を交え、簡単な語句や文を用いて、まとまりのある文章を書こうとしている。

Book 3 Let's Read ③ Rocket Boys pp.101-107

単元目標

ストーリーの展開や登場人物の心情を捉えながら、おおまかな内容を捉えることができる。

評価規準

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
読むこと	<ul style="list-style-type: none"> • <i>Rocket Boys</i> を読むために必要な語句の意味や働きを理解している。 • <i>Rocket Boys</i> を読むために必要な語句の意味や働きの理解を基に、Before Reading に書かれている伝記の背景を踏まえながら、<i>Rocket Boys</i> を読んで、その概要を捉える技能を身に付けている。 	<ul style="list-style-type: none"> • <i>Rocket Boys</i> の内容を順番に話すために、時を表す表現に注目して、いつ何が起きたかを時系列に整理しながら <i>Rocket Boys</i> を読んで、その概要を捉えている。 	<ul style="list-style-type: none"> • <i>Rocket Boys</i> の内容を順番に話すために、時を表す表現に注目して、いつ何が起きたかを時系列に整理しながら <i>Rocket Boys</i> を読んで、その概要を捉えようとしている。
話すこと「発表」	<ul style="list-style-type: none"> • <i>Rocket Boys</i> を読むために必要な語句の意味や働きを理解している。 • <i>Rocket Boys</i> の内容について、簡単な語句や文を用いて話す技能を身に付けている。 	<ul style="list-style-type: none"> • 聞き手に理解してもらえるように、<i>Rocket Boys</i> の概要を時系列に整理して、簡単な語句や文を用いて話している。 	<ul style="list-style-type: none"> • 聞き手に理解してもらえるように、<i>Rocket Boys</i> の概要を時系列に整理して、簡単な語句や文を用いて話そうとしている。